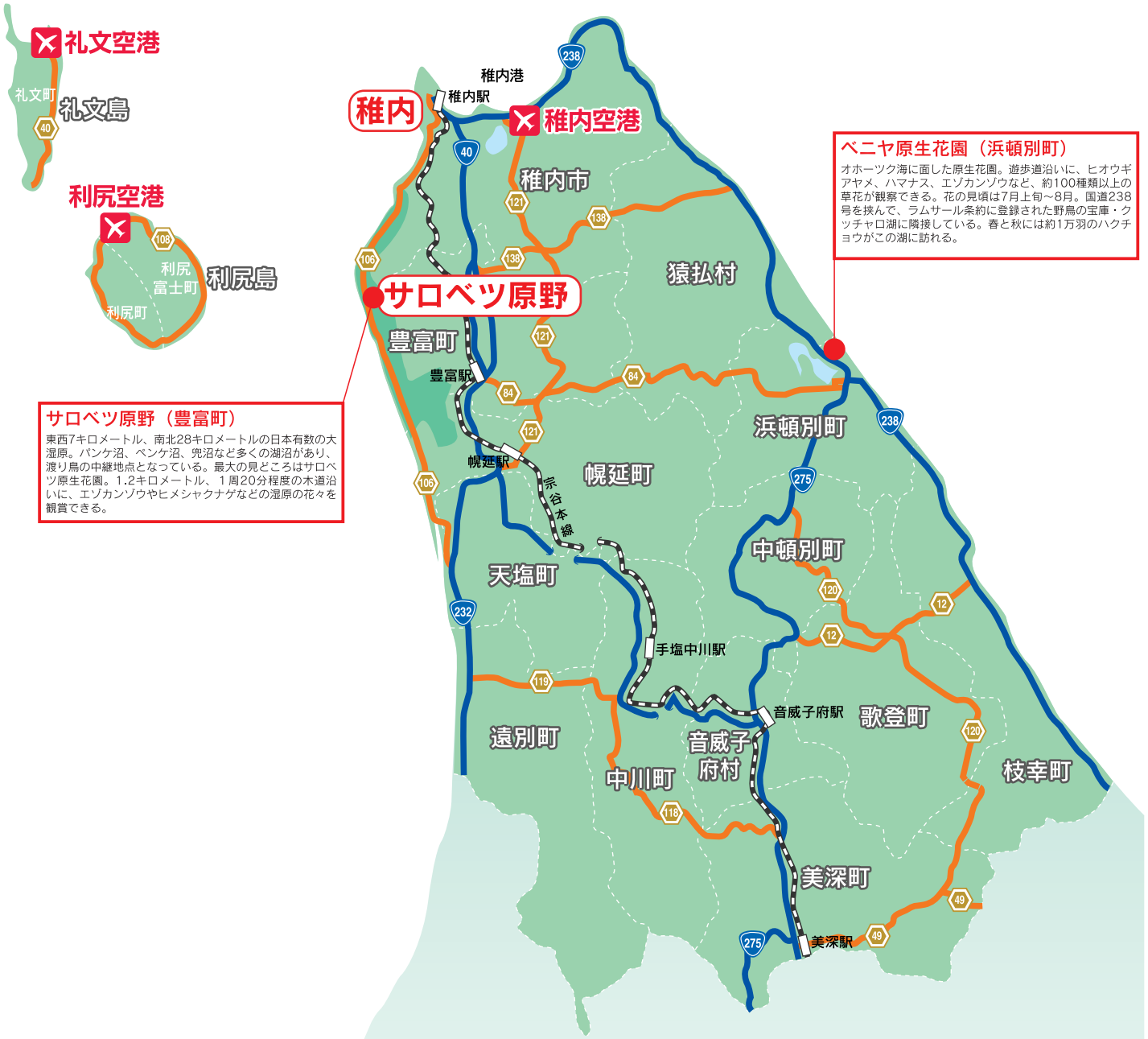

サロベツ原野（豊富町）

東西7キロメートル、南北28キロメートルの日本有数の大湿原。パンケ沼、ペンケ沼、兜沼など多くの湖沼があり、渡り鳥の中継地点となっている。最大の見どころはサロベツ原生花園。1.2キロメートル、1周20分程度の木道沿いに、エゾカンゾウやヒメシャクナゲなどの湿原の花々を観賞できる。

ベニヤ原生花園（浜頓別町）

オホーツク海に面した原生花園。遊歩道沿いに、ヒオウギアヤメ、ハマナス、エゾカンゾウなど、約100種類以上の草花が観察できる。花の見頃は7月上旬～8月。国道238号を挟んで、ラムサール条約に登録された野鳥の宝庫・クッチャロ湖に隣接している。春と秋には約1万羽のハクチョウがこの湖に訪れる。